

東中学校の取り組み

学校の図書館には小説や物語だけでなく、料理の本や数学の本などさまざまなジャンルの本があります。中には司書さんが私たちのために選んでくださった本もたくさん置いてあります。そんな本をもっと多くの人に知って、読んでもらいたいです。

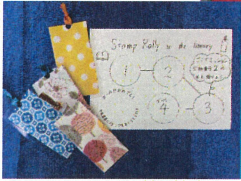
☞ 前期文化委員長 岩田 真虎 ☞

前期文化委員会では、出張図書館という活動をしました。出張図書館とは、各学年の文化委員が図書館の本を図書館以外の廊下などで貸し出しを行うというものです。はじめは、どのくらいの人が出向いてくれるかから不安でした。しかし、思っていた以上に多くの人が本を借りてくれたり、興味を持ってくれたりしました。僕はこの活動を通して、図書館でなくても日常的に本に興味をもってもらうことをねらいとしていました。多くのの人に本を日常に感じて貰えたと思っています。ぜひ後期や来年にも行ってほしいです。



出張図書館のワゴン。かわいくデコりました。

スタンプラリーをしました。



☞ 後期文化委員長 河村 咲楽 ☞

後期文化委員会では、図書館にある本を読みたいかけになるように、全校のみなさんが「行きたい」と思える図書館を作っていると思っています。そのため、全校の皆さんに「学校の図書館がどんな場所なら来たいと思うか」というアンケートを行いました。その結果、「楽しい図書館」という意見がとて多かったのです。そのため、イベントや掲示物などの楽しいと思えるものを企画しています。文化委員全体で意見を出し合っていて、少しでも「楽しい図書館」に近づけられるようにしたいです。学校の図書館が全校の皆さんにとって本を読む、借りる場所だけでなく、楽しい場所になったらと思います。

物語

『ぐうたらとけちとぽー』
加瀬 健太郎/作 横山 寛多/絵
偕成社 ¥1,320-

めんどくさがりやの「めんどくさのすけ」、ものすごくケチな「せこいやジャクソン」、すぐおならが出ちゃう「ハ こいたろう」。おかしな3人がそれぞれの世界一を決める大会を考えますが、どれも実現しません。個性的な3人ですがなぜか仲良しで、公園ではそれぞれの価値観で楽しく過ごします。「こんなともだち、いたらどうかな。」と想像しながら読むのもおもしろいかもしれませんね。



『ヨシ 3万7千キロをおよいだウミガメのはなし』
リン・コックス/文 リチャード・ジョーンズ/絵
いわじょう よしひと/訳 あすなろ書房 ¥1,650-

ヨシはアカウミガメ。魚とりの網を引きずって今にも溺れそうな所を日本の漁船に救われます。傷の手当の間は漁船で数か月、水族館では20年を過ごしてからヨシは海に帰ります。世界中の人がインターネットで見守る中、ヨシが泳いだ距離はなんと37,000キロ！（ちなみに地球1周は訳4万キロ）生き物の持つ不思議な力を美しい絵で教えてくれる本です。



この本読んでみて！

大人むけ

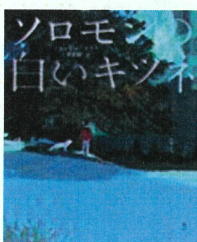
『こどもへの接し方に悩んだら読む本』
米澤 好史/著 フォレスト出版 ¥1,815-

しっかりと愛着の絆を結ぶ経験をしたこどもは、自立した歩みを進めていける。こどもの困った行動が減り、愛情がしっかりと伝わるため、わたしたちが今できることは何なのでしょう。愛着障害の専門家からの提言です。



『ソロモンの白いキツネ』
ジャッキー・モリス/文 木内 達朗/絵
千葉 茂樹/訳 あすなろ書房 ¥1,320-

都市に暮らす寂しい少年ソロモンのまえに、この場所にはいない北極キツネが現れた。その白いキツネに導かれるように父とともに故郷アラスカへと向かう。心を開けないソロモンと過去の失敗から前を向けない父の新しい旅の一步が始まった。白キツネ、波止場、オーロラ、神秘的な挿絵にも魅了される物語です。



小説